



## 第 1517 回例会 20 年 2 月 18 日(月)

海南商工会議所 4 F 12:30~

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介  
次年度地区代表幹事 桃田 隆彦様(和泉 RC)

4. 出席報告  
会員総数 69 名 出席者数 45 名 出席免除会員 1 名  
出席率 66.18% 前回修正出席率 73.53%

5. 会長スピーチ  
会長 山名正一君  
桃田次期代表幹事様、  
本日はようこそお越し  
くださいました。後ほ  
ど卓話をしていただき  
ます。



今朝も雪が降り、本  
当に寒い日が続きます。  
そのような中で、昨日、  
北京オリンピックの出  
場の選考を兼ねた東京  
マラソンが開催され、

選手は勿論のこと体の不自由な方、市民ランナー等、老若男女を問わず楽しみながら走っていました。又、和歌山県においても市町村対抗ジュニア駅伝大会が県庁前をスタートしマリーナシティゴールで開催されました。海南市がマリーナの周回地点まで一位でしたが、ゴール前で抜かれ、残念ながら和歌山市、御坊市に次いで3位となりました。選手の検討に拍手を送りたいと思います。

2月13日に開かれました理事会報告を致します。4月13日から4日間、海南3クラブ受け入れを予定していますGSE訪問団について、14日の月曜日に海南3クラブ合同で歓迎例会を開催することとなりました。我々の海南東クラブがホストクラブとなっています。海南クラブ、海南西クラブと運営方法について相談しなければなりません、盛大な歓迎会となりますよう皆様のご協力をお願いいたします。又、地区GSE委員で当クラブの会員である花田さんが、団員の訪問期間中、訪問団各自の職業に関する施設見学、地

場産業の会社見学、ガーデンパーティ、ハイキング、クルージング等多彩な計画をしていただいているようです。

時間の許せる方はお付き合いの程お願いいたします。

今日は、桃田次期代表幹事に職業奉仕について卓話をさせていただきますが、我々ロータリアンにとって4大奉仕部門の中で一番わかりづらいのが職業奉仕であります。時間をかけて判りよく話をさせていただきたいと思っておりますので、この辺で終わらせていただきます。

### 6. 幹事報告

- メーキャップ  
海南 RC 2月6日 山名正一君  
海南西 RC 2月14日 中村雅行君
- 例会臨時変更  
粉河 RC  
2月27日(水)→2月28日(木) 12:30~  
粉河ふるさとセンター小ホール  
2クラブ合同例会  
和歌山南 RC  
3月7日(金)→3月7日(金) 18:30~  
ダイワロイネットホテル和歌山

### 7. 委員会報告

- 社会奉仕委員会 委員長 山畑弥生君  
交通安全及び犯罪防止啓発看板を設置しましたので、ご報告いたします。費用は、社会奉仕委員会の予算と不足分を花畑重靖さんの寄付の申入れ(ニコニコ)によって負担します。有難うございました。場所は海南市野上中の市役所野上支所で、「子供たちの安全を守ろう」の標語が書かれています。



また、社会奉仕委員の皆さんは、例会後、お集まりください。

- 親睦活動委員会 委員 吉野 稔君  
親睦活動委員の皆さんは、例会後、お集まりください。魚谷委員長は少し遅れていますので、代わりにご連絡いたします。

#### 四つのテスト

- ①真実かどうか
- ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 山名 正一 幹事: 上芝 良造 SAA: 上野山 雅也



吉野 稔君	みて感動しました。また、300人しか居ない島で300億円の橋をかけたとき又びっくりしました。
西川富雄君	亡母の通夜、葬儀に御会葬いただきありがとうございました。
谷脇良樹君	桃田様ようこそいらっしゃいました。
山名正一君	桃田様、本日は、遠い所ありがとうございます。
平尾寧章君	桃田様、本日はご苦労様です。
寺下 卓君	桃田様、ご苦労様です。卓話楽しみにしています。
花田宗弘君	桃田様、ようこそおいで下さいました。
桃田隆彦様 (次年度地区代表幹事)	沖縄で鯨を見てきました。 卓話にお招きいただき、有難うございます。今後ともよろしく申し上げます。

について審議と票決を行います。この審議会は、R I の定款細則を改定する権限、ならびに新たな決議を採択する権限をもっています。審議会には各地区からの代表議員が出席し、すべてのクラブと地区は、立法案を提案することができます。

クラブまたは地区が2010年規定審議会に立法案を提出することを検討している場合、クラブが提案する案件は地区大会で承認を得なければならないこと、および立法案は2008年12月31日までにR I に必着しなければならないことをご銘記ください。このほか、規定審議会のページも併せてご覧ください。R I ホームページ

<http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx> の「会員」「方針と手続き」をクリックしてご覧になれます。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS  
**ロータリーの友**



### 広報は会員増強の重要なツール

国際ロータリー(R I)の会員増強部と広報部はこのほど、ロータリーの広報に関するアンケート調査を実施。無作為抽出した世界中の3,269のクラブのうち、回答した756のクラブのデータを基に結果を発表しました。それによると、回答したクラブの約70%から、広報活動が会員の勧誘に役立つという意見が寄せられました。

また、約半数のクラブが、広報は会員維持に役立つと答えたほか、87%は広報活動によって地域社会でのロータリーに対する認識が高まったと考えています。80%が広報を年間計画に盛り込んでおり、77%は特定の催しやプロジェクトに合わせて広報活動を実施。57%はホームページを立ち上げており、そのほとんどが情報を一般向けに提供しています。回答クラブのほぼすべて、広報活動が新聞で報道されたと答えた一方、テレビ、ラジオ、インターネットなどでの報道は50%未満でした。広報活動への最大の障壁としては、報道機関の関心の低さと資金不足が挙げられました。

R I の提供資料では、上位から「ロータリー大要」(419-JA)、「ロータリーとは」(001-JA)、「ロータリーの基本知識」(595-JA)が役立つという結果。広報活動に『THE ROTARIAN』、『ロータリーの友』などの地域雑誌、R I のホームページを活用しているという回答も多くありました。上記のR I 提供資料はR I のホームページ(日本語)

<http://www.rotary.org/ja/AboutUs/SiteTools/DownloadLibrary/Pages/ridefault.aspx>

### 2008年規定審議会への 立法案提出について

国際ロータリー(R I)の規定審議会は3年ごとに開かれ、クラブ、地区、R I 理事会が提出した立法案

### 国連事務総長、 ロータリー・リーダーと会う



潘基文(パン・ギムン)国連事務総長は、最近のシカゴ訪問中に、ロータリーのリーダーと会い、ロータリアンのポリオ撲滅に対する貢

献を称えました。

潘国連事務総長は、2月7日、シカゴ経済クラブで行った演説の中で、「国際ロータリーは、ポリオを根絶するために、世界規模のキャンペーンを主導してきました。近い将来、この取り組みが完遂することでしょう。天然痘のように、ポリオは過去のものとなるのです」と述べました。

その日、これに先立って行われた非公開の式典で、ウィルフリッド J. ウィルキンソン RI 会長は、ポリオ撲滅への支援、ならびに、平和と異文化に対する理解を推進するという献身を称え、潘国連事務総長に国際ロータリー栄誉賞を授与しました。この栄誉あるロータリーの賞の過去の受賞者には、コフィ・アナナン元国連事務総長、ビル・クリントン元米大統領、ミハイル・ゴルバチョフ元共産党書記長、ネルソン・マンデラ南アフリカ共和国初代大統領がいます。

また、潘国連事務総長は、ロバート S. スコット財団管理委員長、エドウィン H. フタ(布田) RI 事務総長、李東建 RI 会長エレクトとも会いました。ともに韓国出身である潘国連事務総長と李 RI 会長エレクトは友人でもあります。

ロータリーの国連との密接な関係は、49名のロータリアンが国連憲章の起草に貢献した1945年にまでさ



かのぼります。ロータリーは、国連児童基金（ユニセフ）、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センターとの協同活動による世界ポリオ撲滅推進活動を通じて国連と引き続き協力を続けていきます。

## グーグルからロータリーへポリオ撲滅のために 350 万米ドルの補助金

国際ロータリーは、Google.org が運営する非営利財団、グーグル財団より、ロータリーの最優先事項である世界ポリオ撲滅の支援のために、350 万米ドルのチャレンジ補助金を受け取りました。このグーグル財団からの補助金を受けて、ロータリーは、今後 1 年間に同額を組み合わせるための拠金活動を行っていくことになります。



グーグルからの補助金とロータリーからの同額拠出金は、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）によって行われているポリオの予防接種活動を直接支援するものです。GPEI は、世界保健機関、国際ロータリー、ユニセフ、米国疾病対策センターが協同で主導しています。

「昨年 11 月の、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリーへの 1 億ドルの補助金に続き、グーグルもまた、ロータリーをはじめとする協同組織によるポリオ撲滅への呼びかけに応じてくれました」と、ロータリー財団のロバート S. スコット管理委員長は述べます。「これら二つのチャレンジ補助金は、世界中の子供たちのためのこの重要な保健目標に向けたロータリーの懸命な活動に対する、確固とした信頼を物語っています」

1985 年以来、ポリオの撲滅はロータリーの最優先項目とされてきました。現在までに、ロータリーは 20 億人近い子供たちに予防接種を施し、6 億 5 千万ドルを GPEI に寄付してきました。この数字は、世界からポリオ撲滅が証明される頃には、8 億 5 千万ドルを上回ると予想されています。

1980 年代半ばに世界で年間 35 万人であったポリオ患者数は、2006 年にはおよそ 2 千人にまで減少しました。GPEI は、ポリオ常在国の数を 99 パーセント減らすことに成功し、125 カ国あった常在国の数は、現在わずか 4 カ国（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）となっています。

「世界で撲滅が最も困難とされている地域で、すべての子供たちに予防接種するための資金が必要とされています。今回の補助金は、私たちの推進計画の中でも重要な時期にもたらされました」と言うのは、ウィルフリッド J. ウィルキンソン RI 会長です。「ポリオを撲滅する技術面での手段は揃っています。私たち

は撲滅まであと一步のところまで来ているのです。私たちが今必要としているのは、世界中のほかの人々がグーグルの率先に做って、ワクチンで予防可能なこの病を世界から根絶するための支援を寄せてくれることです」

## ブラジルに識字の光を照らす

### 3-H プロジェクト

ロータリー財団 3-H 補助金の支援を受けたロータリアンによる識字率向上活動は、何千人ものブラジルの児童の読み書き学習を援助している。

2001 年にブラジルに集中言語能力助長プログラム（CLE）を導入したロータリー財団 3-H 補助金は、ブラジル全国の低所得世帯の間で引き続き識字率を向上させています。

財団の援助を受けて、実施国協同提唱者であるブラジルの第 4520、4560、4760 地区と援助国協同提唱者である第 6900 地区（米国ジョージア州）および第 7080 地区（カナダ、オンタリオ州）は、344,862 米ドルのプロジェクトを開発し、ミナスジェライス州コンタジェムに CLE 研修センターを開設しました。



今日、1,900 名以上の教員とその他の教育専門家がこの教授法を学び、72,600 名以上の人々がこれらの教師から読み書きを学ぶ恩恵を受けました。CLE プログラムでは、機械的な暗記や反復ではなく、グループ形式の活動を用いて学びます。廉価で、生徒に人気が高い相互参加型の CLE プログラムは、多数の発展途上国で効果を証明してきました。

「この地域では、機能的な識字能力の欠如が大きな問題でした」とセンターの 1 つで指導するグロシヤ・ローザ・アルベスさんは言います。「廉価で効果的な教授法を必要としているところにロータリーがやって来たのです」地元の十余のロータリー・クラブが、現在ブラジルで CLE 教授法を推進し擁護しています。地元ロータリアンの積極的な関与から、学校に教材や給食、医療などを提供する数々の自発的なプロジェクトも生まれました。

ソニア・ブラガ・リベイロは、この教授法を取り入れた学校のひとつで、コンタジェムの犯罪多発地域でオアシス的存在となっています。生徒の多くは、ごみを集めて生計を立てなければならない極貧家庭の出身です。